

区長 釜坂 道弘
副区長 鈴木 健文(総務)
会 計 前田 亮平
協議員 ()は主な担当

団体役員 (代表のみ紹介)
老人会 塩見 正 (第1号)
徳沢 秀樹 (第2号)
上延 泰子 (第3号)

井上 良宣(文化)
川端 一郎(体育)
植田 弘造(環境)
田崎 正和(広報)
山下 美紀(環境)
鈴木 智久(文化)
鈴木 和満(土木)
内藤 至(体育)

女性部 古井 智世
商工会 植田 弘造
農業部会 上延 英一
消防団 浅井 信人
青年団 田中 翔真
小学PTA 大杉 昭徳
中学PTA 植田 長務
上派遣役員
民生委員 鈴木まき子
釜坂真理子
福祉委員 岡本徳子
松岡初子
補導委員 駒田富男
松岡博子
人権教育推進委員
青少年健全育成委員 川端一郎
体育普及員 駒田仁
文化財協力委員 田崎正和

隣保長 (◎はブロック長)
1ブロック [世帯数]
1 小谷喜多男 [三]
2 川端 裕介 [三]
◎ 3 松岡 弘 [三]
1 4 大浦 克之 [一]
2ブロック
4 福永 裕一 [一]
◎ 5 上延 英一 [一]
6 鈴木 昌吾 [一]
7 東 香壽美 [一]
3ブロック
1 0 藤本 武尊 [一]
1 1 北池 陽子 [一]
1 2 藤沢 春雄 [一]
◎ 1 3 後藤 嘉雄 [一]
4ブロック
◎ 1 3 後藤 嘉雄 [一]
1 2 藤沢 春雄 [一]
1 1 北池 陽子 [一]
◎ 1 3 後藤 嘉雄 [一]
5ブロック
◎ 1 9 松岡 秀隆 [一]
8 北野 雄三 [一]
◎ 1 5 松田 耕二 [一]
2 0 三輪 司 [一]
2 1 本池 達也 [一]
1 6 井上 良宣 [一]
1 7 後藤 靖彦 [一]
1 8 西田 和子 [一]
◎ 1 9 森下 洋三 [一]

災害に備える 8

地震対策 ②

阪神淡路大震災から20年が経ちました。6400人余りの犠牲者のうち約半数が65才以上でした。直接死5500人弱のうち約73%が窒息・圧死だったそうです。木造家屋が倒壊し下敷きになった人が大半で、特に1階で就寝中に圧死した人が多かったそうです。窒息・圧死のうち約10%は室内家具の転倒によるものと推定されています。家具の転倒・落下は「震度5強」以上で発生します。2009年発表の県の被害想定では山崎断層系の最大マグニチュードを8.0、建物倒壊による死者を約3700人としています。福岡市の最大震度は6弱とし、固定していない家具の大半が移動し、倒れる

ものもあるとしています。もちろん、壁のタイルや窓ガラスが破損・落下することもあります。今号の地震対策では、被害を小さくするために私たちが今すぐできること、地震時や避難時の注意点を取り上げます。

家具の転倒から命を守る

①家具を減らす。②家具を固定する。③家具の配置を変える。以上3つのポイントがある。

①は、まず身の周りの整理から。不要な家具を処分する。

②は、左の図と説明を参考に、出来ることから始める。テーブルの脚裏やテレビ・パソコンには耐震粘着マットを貼る。

③は、倒れても下敷きにならない方向・位置へ配置を変えたり、タンスの上に危険なものを載せないように。空から見下ろしたときに、建物の形が長方形の場合は短辺方向に揺れることが多い。家具を固定する前に、

倒れにくい方向に家具を移動しておくことが肝要。

身近にあれば便利なもの

懐中電灯とスリッパ(割れたガラスが散乱しは常に身近に置きたい。さらに出来ることなら食糧等を備蓄したい。大地震が発生したときには支援物資が行き渡るまでに1週間くらいかかる。ライフラインがすべて寸断していることを想定して、**食糧**：そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの(賞味期限に注意。定期的な入れ替えを)。**水**：飲料水は1人1日3リットルが目安。生活用水はポリタンクやペットボトルなどで保存。風呂の水を残しておくのも便利。**生活用品**：眼鏡や常備薬など生活に不可欠なものに加え、紙おむつや粉ミルクなど家庭の状況に応じて準備。軍手やレジャーシート、マッチ・ライターなども役立つ。

地震発生

①まず自分の身を守る。丈夫なテーブルや机の下へ隠れ、脚を持つ。座布団や枕で頭を守る。

②火の始末 ③出口の確保

家から出る時の注意点

①慌てて外に飛び出さない。

②コンセントを抜き、ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす。

③必ず靴を履いて、座布団などで頭を保護しながら出る。子供を一人では出さない。④荷物は肩に担ぐかリュックに(両手をあける)。

④避難は歩いて。

編集後記

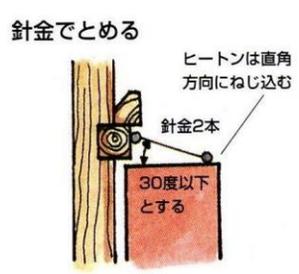
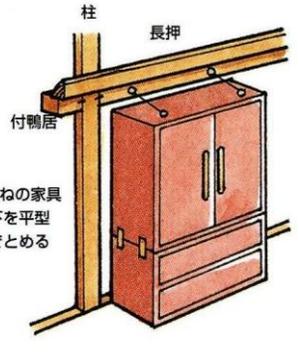
町のホームページの「防災情報」には非常時持出品や避難時の注意点が具体的に示されています。「あの時、()しておけば…」後悔先に立たず。声を掛け合って対策を進めましょう。次号ではお得な耐震改修の特集します。防災特集のラストです。(田崎)

家具の転倒防止

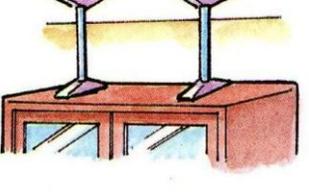
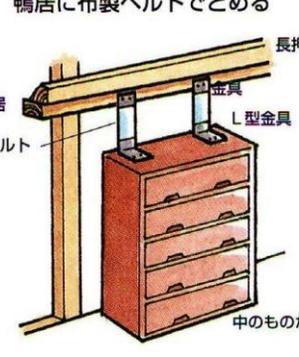
タンスのとめ方

壁に柱が直接出していない場合は、壁の表面をたたいて位置を確認し、壁の中の間柱や胴縁に固定する。

●背の高い家具

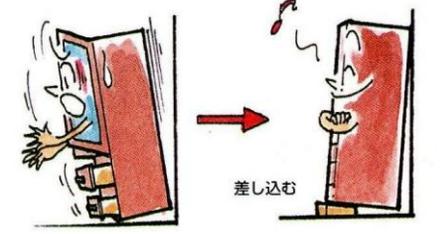


●背の低い家具



固定できないときは

- ・家具の下を少し前へ出し、背面の壁にもたれかけさせる。
- ・硬い床の上に置き、畳やじゅうたんの上に置かざるを得ないときは、下にベニヤ板を敷く。
- ・下には重いもの、上に軽いものを収納し、ガラスケース、鏡、アイロン、テレビ、ラジカセなどを置かない。
- ・窓ガラスを背に置かない。



上の図と説明は、姫路市発行の「姫路の防災」1998から引用しました。